

報道関係各位
Press Release



2026年2月20日
コグニティ株式会社

人的資本経営「何から手を付けるべきか分からない」を 知識表現AIで定量化・4つのレイヤーで整理【出展案内】 — DX総合EXPO内「Japan Future Gate」に出展 —

知識表現AIを用い、会話・文章情報から組織課題を可視化するコグニティ株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役：河野理愛、以下「コグニティ」）は、2026年2月25日（水）～27日（金）に幕張メッセで開催される「DX総合EXPO」内の特設展示エリア「Japan Future Gate」に出展します。

本出展では、会話・文章などの定性データを知識表現AIである独自の構造化技術により定量化し、「人と組織の課題」と「改善に使える施策」に変換する当社の分析アプローチをベースに、人的資本経営の推進における“現場の実態把握”から“施策の優先順位づけ”“定着・改善サイクル”までを支援するサービス群を紹介します。



* 図：人的資本経営の4つのレイヤー

■ 出展の背景：人的資本経営は「戦略との整合」と「実行」の難易度が高い

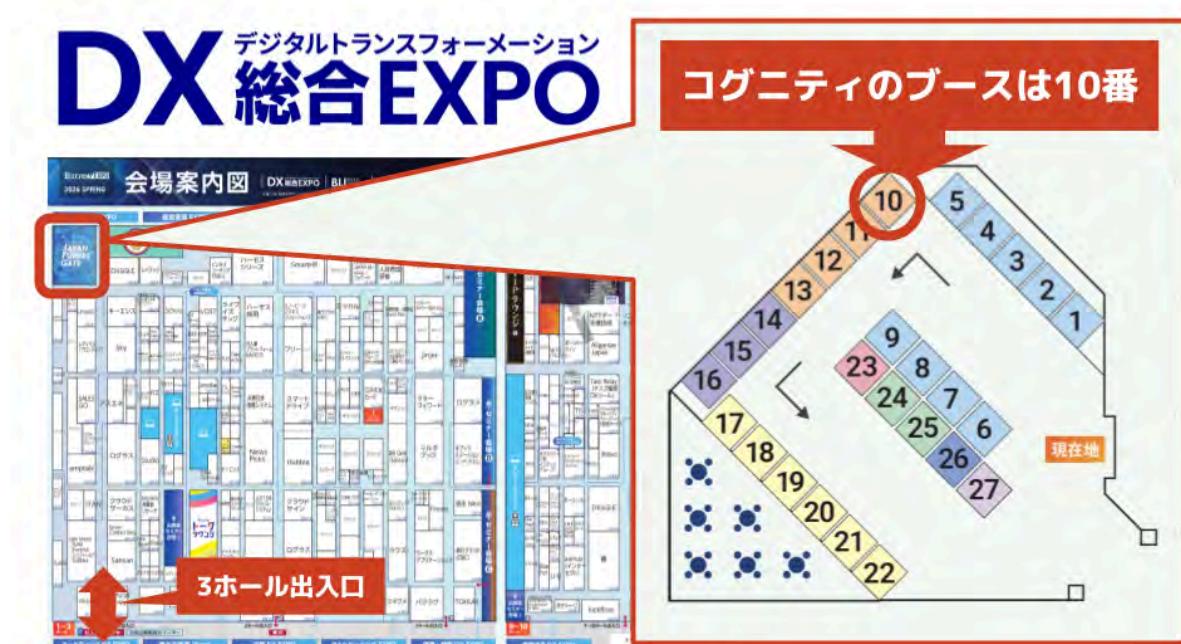
人的資本経営は、「人への投資を通じて組織能力を高め、持続的な企業価値の創造/向上を目指す経営」です。それは、単に人事施策を増やすことではなく、人と組織の現場課題を把握し、個人の力を引き上げながら統合して組織の力とする改善施策に落としこみ、さらに企業戦略との整合を取りながら成果につなげていく取り組みです。一方で実務では、「課題

は感じるが、具体的に何が課題なのかどこから手を付けるべきかが分からない」「施策が点在し、戦略とのつながりが説明できない」「実行しても、効果検証と改善が回らない」といった壁が起きやすく、導入・定着の設計が難しい領域でもあります。

そこでコグニティでは、人的資本経営を4つのレイヤーに分け、Layer-1/2の「人・組織の課題抽出」から、Layer-3の「企業戦略との整合」、Layer-4の「価値創出への接続」までを一続きで捉えます。そして、定性情報を定量化する分析を起点に、会議・商談・1on1・社内資料・研修・顧客対応・IRなどのコミュニケーションを“構造”として捉え直し、改善の優先順位と打ち手を提示することで、人的資本経営を「実行可能な改善サイクル」に落とし込む支援を行います。

■ 出展概要（Japan Future Gate）

会期は2026年2月25日（水）～27日（金）、会場は幕張メッセの3ホールです。コグニティはDX総合EXPO内の特設展示エリア「Japan Future Gate」に出展し、ブースにて各サービスの事例紹介および個別相談を実施します。



*図：DX総合エキスポ（2026年2月25日～27日 幕張メッセ 3ホール）内のJapan Future Gate

■ 展示内容・配布物

ブースでは、人的資本経営の推進において起こりがちな「現場の実態（定性情報）をどう扱うか」という課題に対し、当社がどのように“比較可能な構造”に落とし込み、示唆を施策へ接続していくかを具体例で説明します。

経営層/CxO、人事・人材開発、事業戦略、研究開発、現場マネジメント、IR/広報など、部門横断で“整合”が求められる方に、検討のたたき台として持ち帰れる観点を提供します。

・COG-EVIDENCE【サービス紹介】

会話・文章などの定性データを独自の構造化技術で定量化し、成果に影響する要因を可視化します。現場の課題抽出から、改善すべき論点の特定、打ち手の優先順位づけまでを支援します。

・COG-TRACKING【サービス紹介】

施策実行後の状態変化を追跡し、改善の定着度合いや次の打ち手を検討するためのモニタリングを支援します。

・人的資本経営に関する分析レポート【配布物】

「現場が原因?」「指導者が原因?」経営者や管理職が目の当たりにする「感覚で意思決定したいわけではない、単純に誰かを責めるためではなくもっと効率的な施策を見つけてい」、という思い。それに対する解として、組織分析を核とした人的資本経営のアプローチを紹介・分析結果例が書かれたレポートを配布します。

■トライアルのご案内：Baseline Review機能

コグニティは、会話・文章などの定性データを、独自の構造化技術により「改善に使える指標」と「行動に落ちる示唆」に変換する分析サービスを提供しています。商談・会議・社内共有・研修・顧客対応・IRなど、目的に応じてコミュニケーションの“伝わり方”と“成果につながる要因”を可視化し、改善の優先順位と打ち手を提示します。

その入口として、短期間で現状の課題と改善の方向性を把握できる「Baseline Review（お試し）」を5万円（税別）で2026年1月27日にリリースいたしました。個人・組織の力量を確かめるため、パフォーマンスが良いトーク／悪いトークの違い（構成・論点の置き方・説得の流れ等）や最終版の再レビュー（Before/After比較）として、録画・音声・書類等を2本ご提出いただくことで、分析結果とブリーフィング1時間でフィードバックします。（個人利用の場合は、ブリーフィングに代わりメールもしくはオンラインセミナーにて実施）



申込ページ：<https://cognitee.com/baseline-review-cog-evidence>

【コグニティ株式会社 会社概要】

- 社名：コグニティ株式会社
- パーサス：技術の力で、思考バイアスなき社会を。
- 事業内容：定性情報の定量化技術を使った組織分析サービス
- 本社：〒140-0015 東京都品川区西大井一丁目1番2-208号
- 設立：2013年3月28日

- Web : <https://cognitee.com/>
- 資本金 : 6億円（準備金含む）
- 従業員 : 71名（リモートワーカー含む）
- 代表者 : 代表取締役 河野 理愛
- 受賞歴他 :
- EY Innovative Startup エンタープライズ部門受賞(2019)
- 第11回 HRアワード 人材開発・育成部門 最優秀賞(2022)
- 第22回 一般社団法人日本テレワーク協会 テレワーク推進賞 優秀賞受賞(2022)
- 第3回 TOKYOテレワークアワード 推進賞(2023)
- 一般社団法人生成AI活用普及協会協議員(2023~)

本件に関するお問合せ

コグニティ株式会社 広報担当：奥井

Email: okuinagisa@cognitee.com TEL: 03-4212-8445